



令和元年 岐阜県鉱工業指数(年報)

【平成27年基準】

1 概況

生産指数	105.6	前年比1.6%の上昇
出荷指数	105.5	前年比0.5%の上昇
在庫指数	111.5	前年比3.6%の上昇

令和元年1年間の生産指数は、食料品工業等が低下したものの、汎用・生産用・業務用機械工業、化学工業等が上昇したため、前年比1.6%の上昇となった。

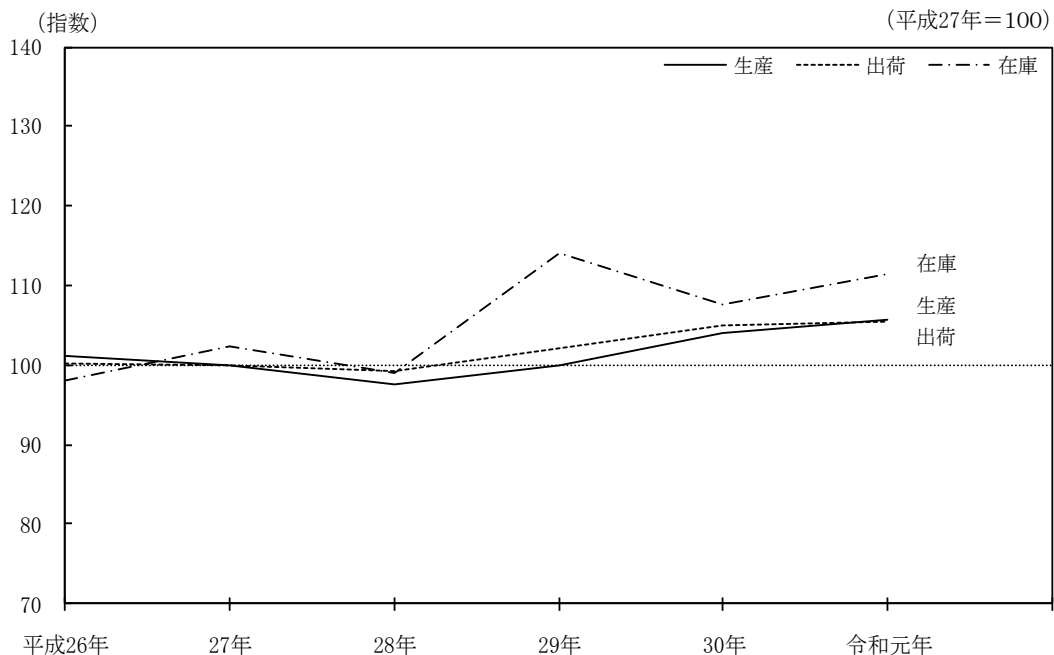
また、出荷指数は、汎用・生産用・業務用機械工業、化学工業等が上昇したため0.5%の上昇となり、在庫指数は、化学工業、プラスチック製品工業等が上昇したため3.6%の上昇となった。(図-1)

(平成27年=100)

区分	生産		出荷		在庫	
	指数	前年比(%)	指数	前年比(%)	指数	前年比(%)
平成26年	101.2	△0.6	100.2	0.0	98.0	△7.0
27	100.0	△1.2	100.0	△0.2	102.3	4.4
28	97.6	△2.4	99.2	△0.8	99.1	△3.1
29	99.9	2.4	102.1	2.9	114.1	15.1
30	103.9	4.0	105.0	2.8	107.6	△5.7
令和元	105.6	1.6	105.5	0.5	111.5	3.6

(注) 年指数の値は、生産及び出荷指数は月指数の平均値、在庫指数は年末値による。

図-1 岐阜県鉱工業指数の推移(原指数)

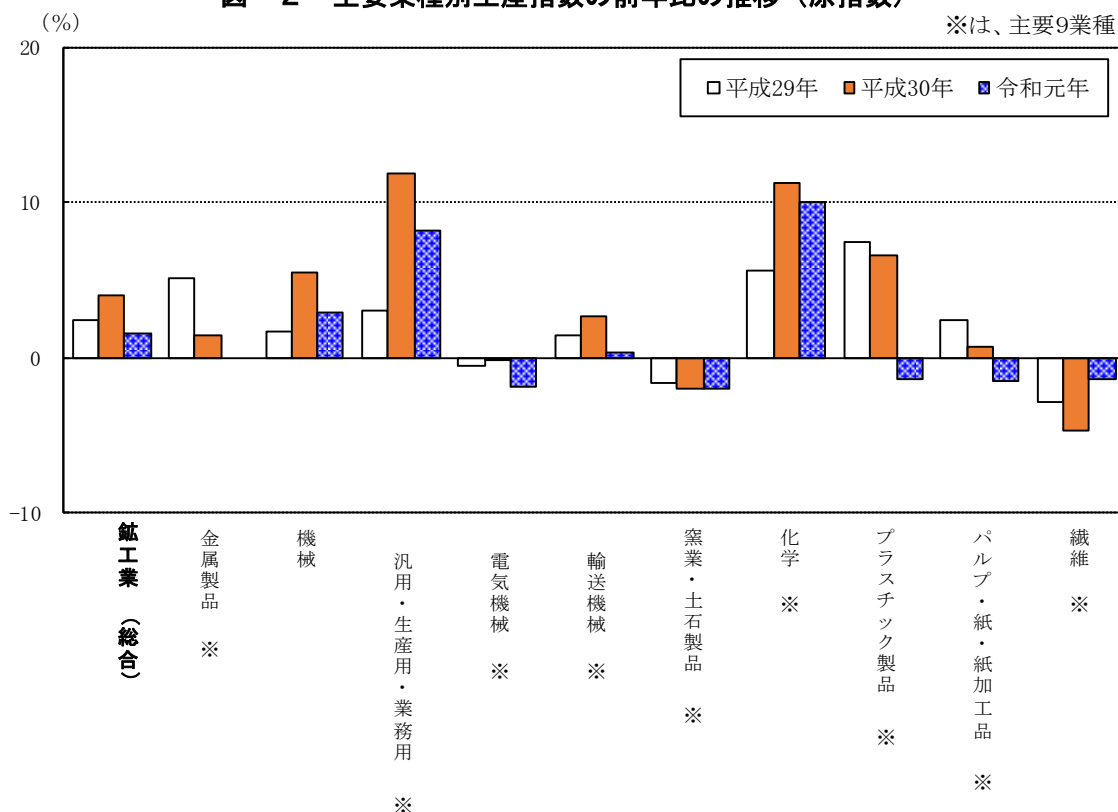


2 主要業種別生産指数の前年比

主要9業種(※)の生産指数を業種別に前年と比べると、上昇したのは、汎用・生産用・業務用機械工業(前年比8.2%)、輸送機械工業(同0.4%)、化学工業(同10.1%)の3業種となった。

一方、低下したのは、電気機械工業(同△1.9%)、窯業・土石製品工業(同△2.0%)、プラスチック製品工業(同△1.4%)、パルプ・紙・紙加工品工業(同△1.5%)、繊維工業(同△1.4%)の5業種となり、金属製品工業は前年と同値で横ばいとなった。(図-2、表-1)

図-2 主要業種別生産指数の前年比の推移(原指数)



3 全国、中部との生産指数の比較

令和元年の全国における生産指数は、前年比3.0%の低下であった。

また、中部においては、3.2%の低下であった。

(平成27年=100)

区分	岐阜県		全国		中部	
	生産指数	前年比 (%)	生産指数	前年比 (%)	生産指数	前年比 (%)
平成26年	101.2	△0.6	101.2	2.0	102.5	2.1
27	100.0	△1.2	100.0	△1.2	100.0	△2.4
28	97.6	△2.4	100.0	0.0	100.0	0.0
29	99.9	2.4	103.1	3.1	105.7	5.7
30	103.9	4.0	104.2	1.1	106.6	0.9
令和元	105.6	1.6	101.1	△3.0	103.2	△3.2

(注)「中部」とは、中部経済産業局管内5県(愛知、三重、石川、富山、岐阜)

資料：経済産業省、中部経済産業局

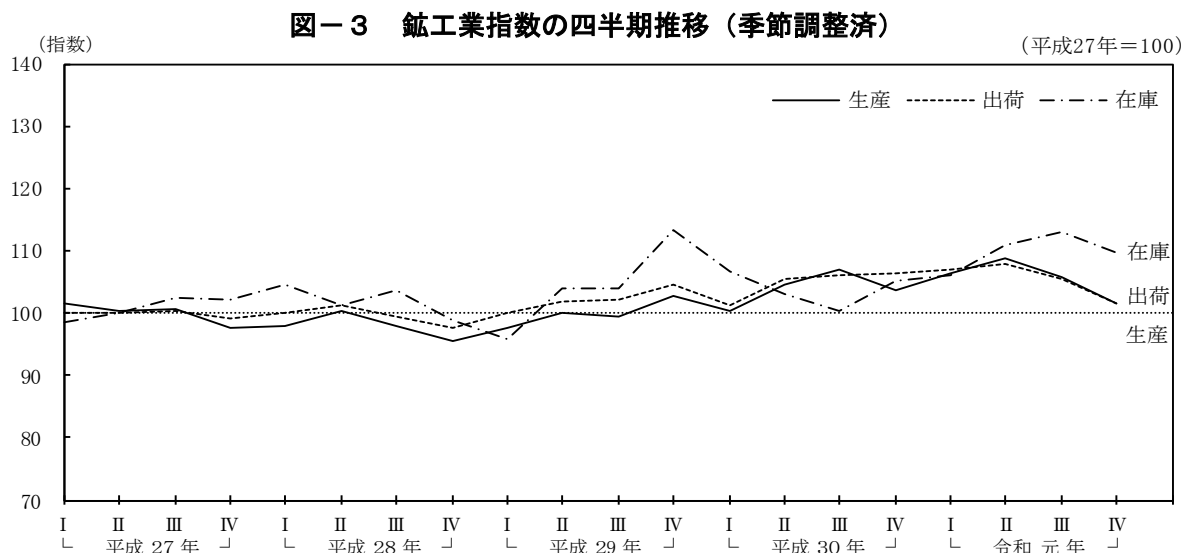
<令和元年 岐阜県鋳工業指数の詳細について>

1 鋳工業指数の四半期推移

令和元年の生産指数を四半期ごとに比べると、第1期は2.7%、第2期は2.3%の上昇、第3期は2.9%、第4期は4.0%の低下となった。

また、出荷指数も同様に、第1期、第2期が上昇、第3期、第4期が低下となった。

なお、在庫指数は第1期から第3期が上昇、第4期は低下となった。 (図-3、表-2)

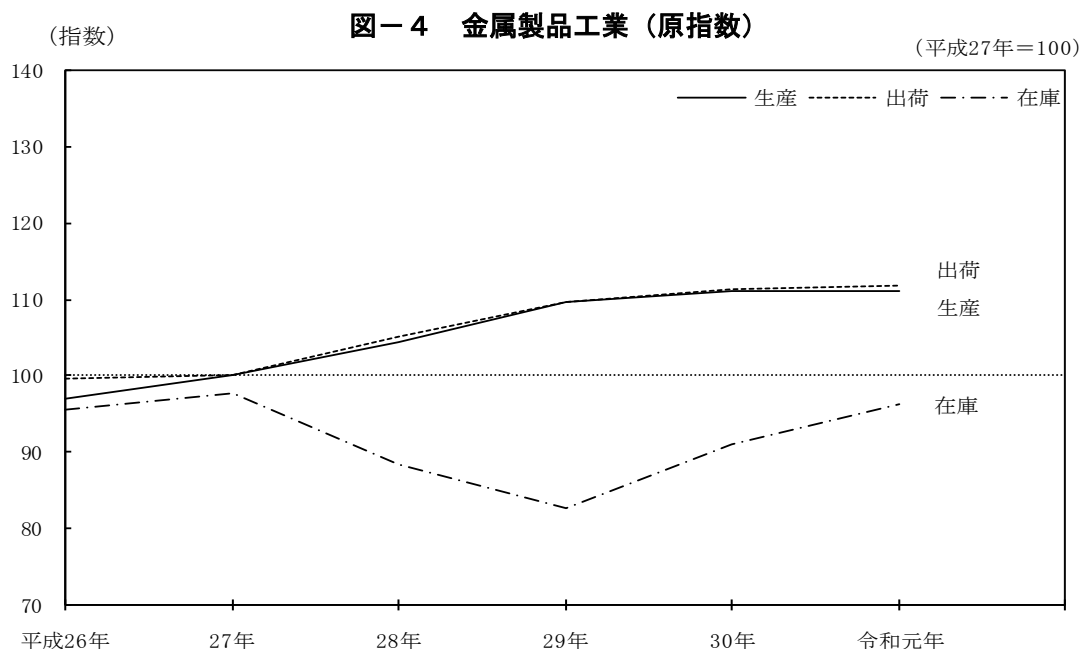


2 主要業種別指数の動向

(1) 金属製品工業

- ・ 生産指数は、ボルト・ナット等が増加したものの、アルミサッシ等が低下したため、前年比0.0%の横ばいとなった。
- ・ 出荷指数は、ボルト・ナット等が増加したため、前年比0.4%の上昇となった。
- ・ 在庫指数は、はさみ等が増加したため、前年比5.7%の上昇となった。

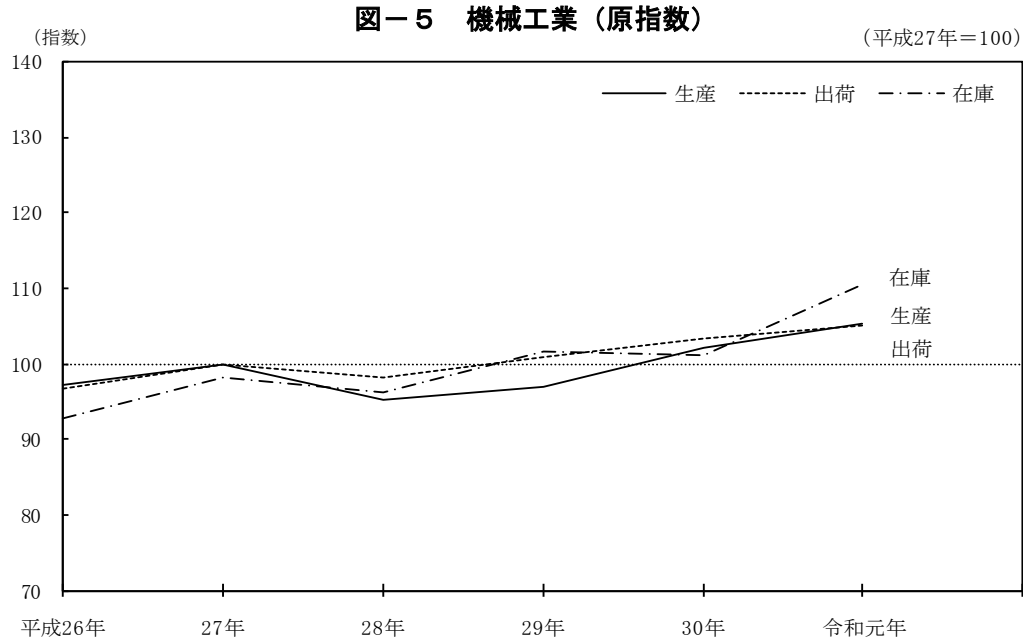
(図-4、表-1)



(2) 機械工業

- ・ 生産指数は、電気機械工業が低下したものの、汎用・生産用・業務用機械工業、輸送機械工業が上昇したため、前年比2.9%の上昇となった。
- ・ 出荷指数は、前年比1.6%の上昇となった。
- ・ 在庫指数は、前年比9.1%の上昇となった。

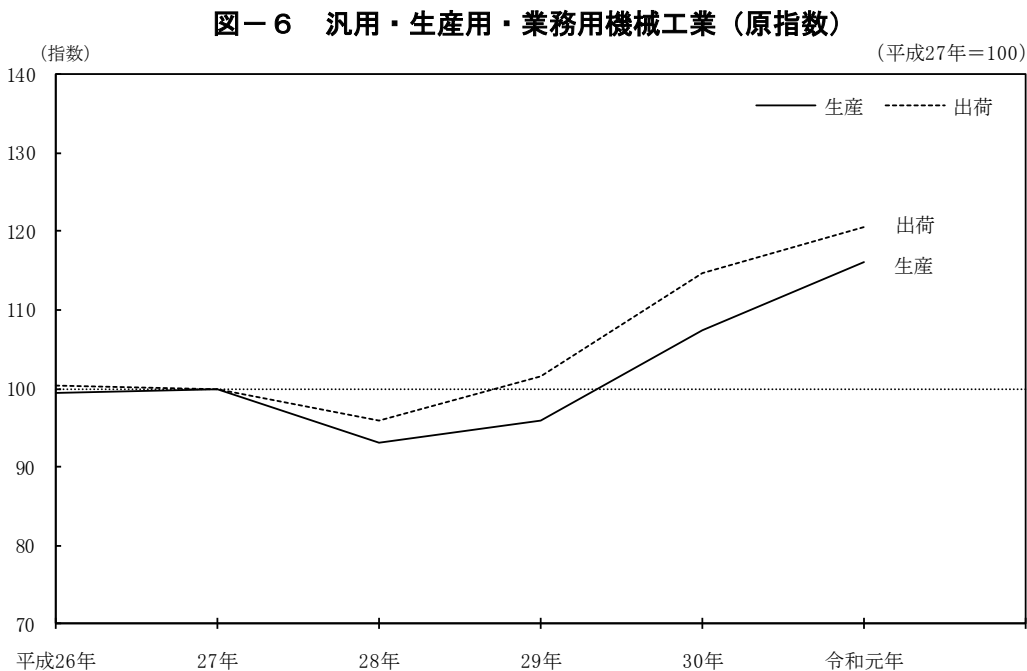
(図-5、表-1)



(2) -ア 汎用・生産用・業務用機械工業

- ・ 生産指数は、金型等が増加したため、前年比8.2%の上昇となった。
- ・ 出荷指数は、金型等が増加したため、前年比5.2%の上昇となった。

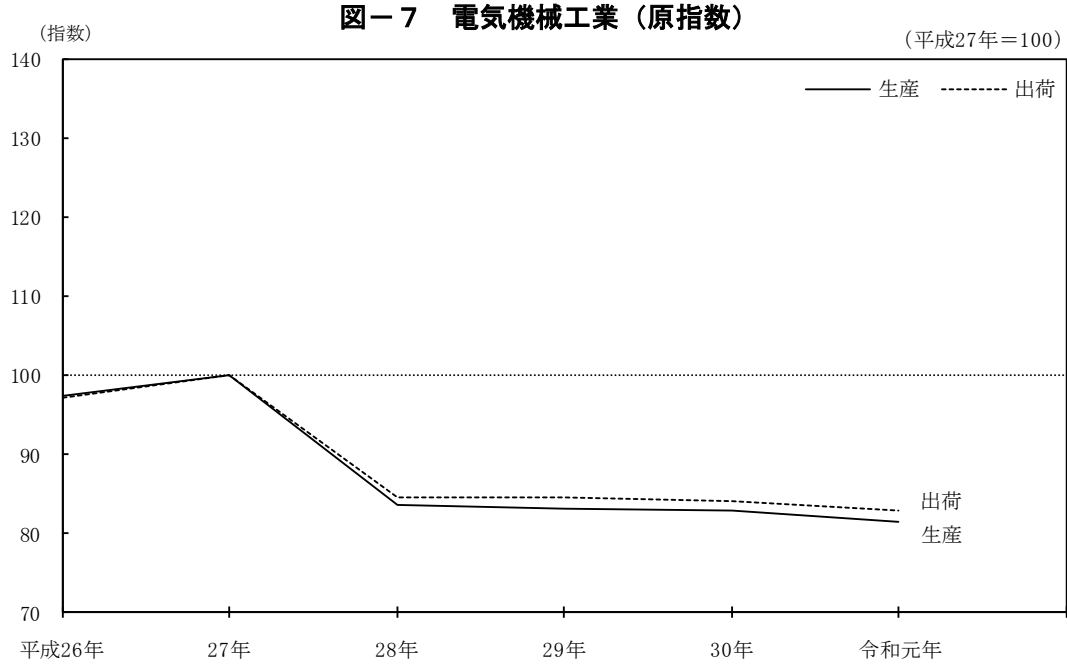
(図-6、表-1)



(2) -イ 電気機械工業

- ・ 生産指数は、電子回路基板等が減少したため、前年比1.9%の低下となった。
- ・ 出荷指数は、電子回路基板等が減少したため、前年比1.2%の低下となった。

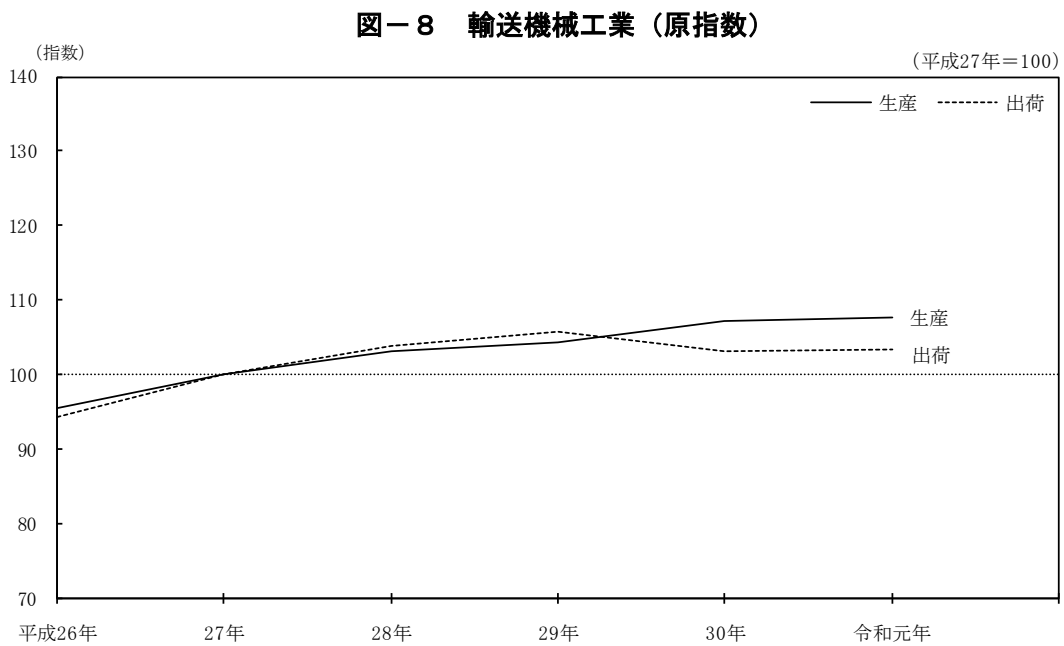
(図-7、表-1)



(2) -ウ 輸送機械工業

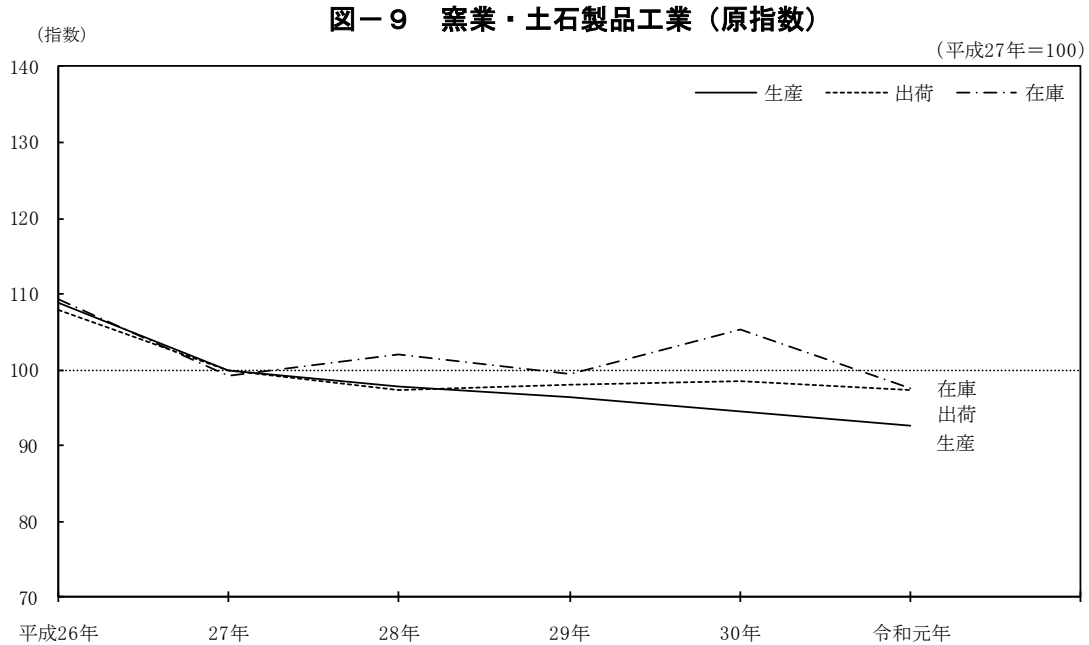
- ・ 生産指数は、前年比0.4%の上昇となった。
- ・ 出荷指数は、前年比0.1%の上昇となった。

(図-8、表-1)



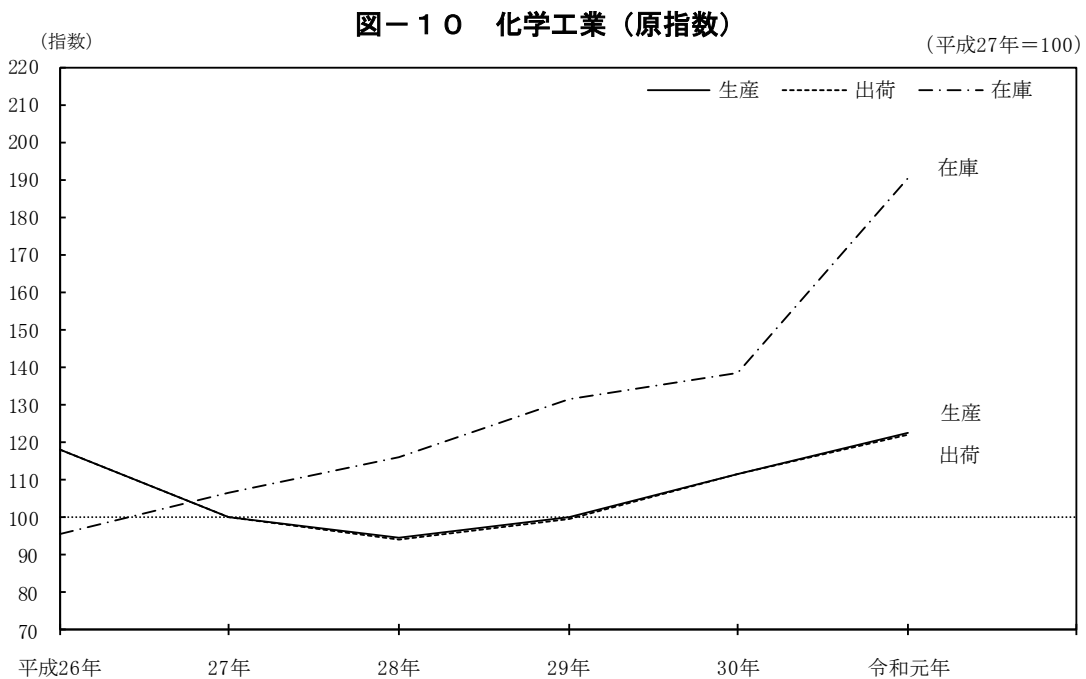
(3) 窯業・土石製品工業

- ・ 生産指数は、タイル(陶磁器製タイル)等が減少したため、前年比2.0%の低下となった。
 - ・ 出荷指数は、タイル(陶磁器製タイル)等が減少したため、前年比1.3%の低下となった。
 - ・ 在庫指数は、触媒担体・セラミックフィルタ等が減少したため、前年比7.4%の低下となった。
- (図-9、表-1)



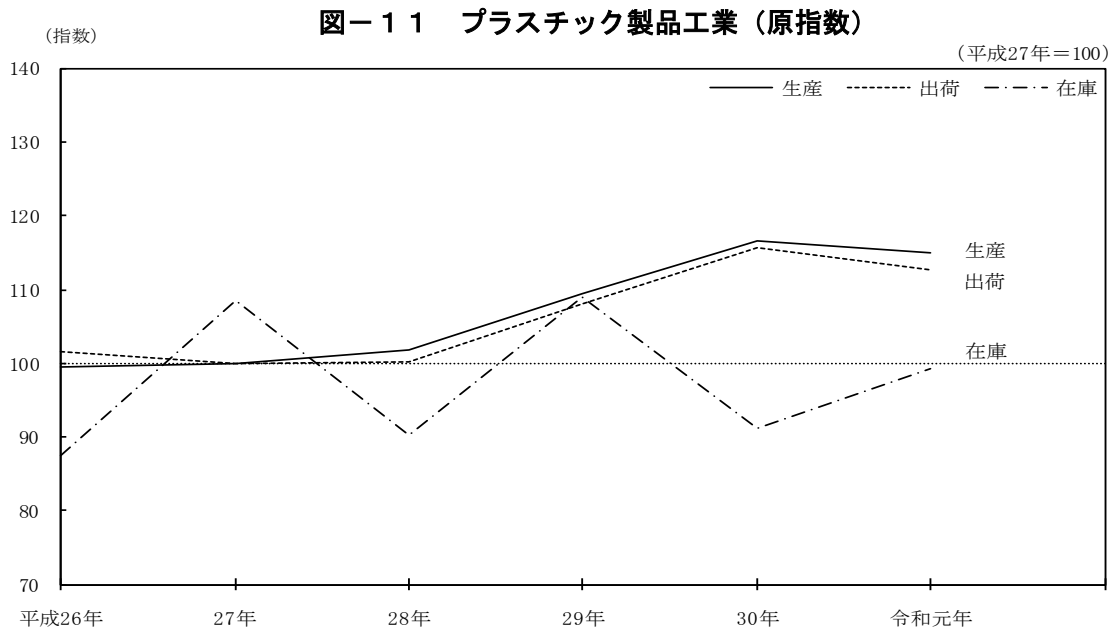
(4) 化学工業

- ・ 生産指数は、医薬品等が増加したため、前年比10.1%の上昇となった。
 - ・ 出荷指数は、医薬品等が増加したため、前年比9.7%の上昇となった。
 - ・ 在庫指数は、前年比37.4%の上昇となった。
- (図-10、表-1)



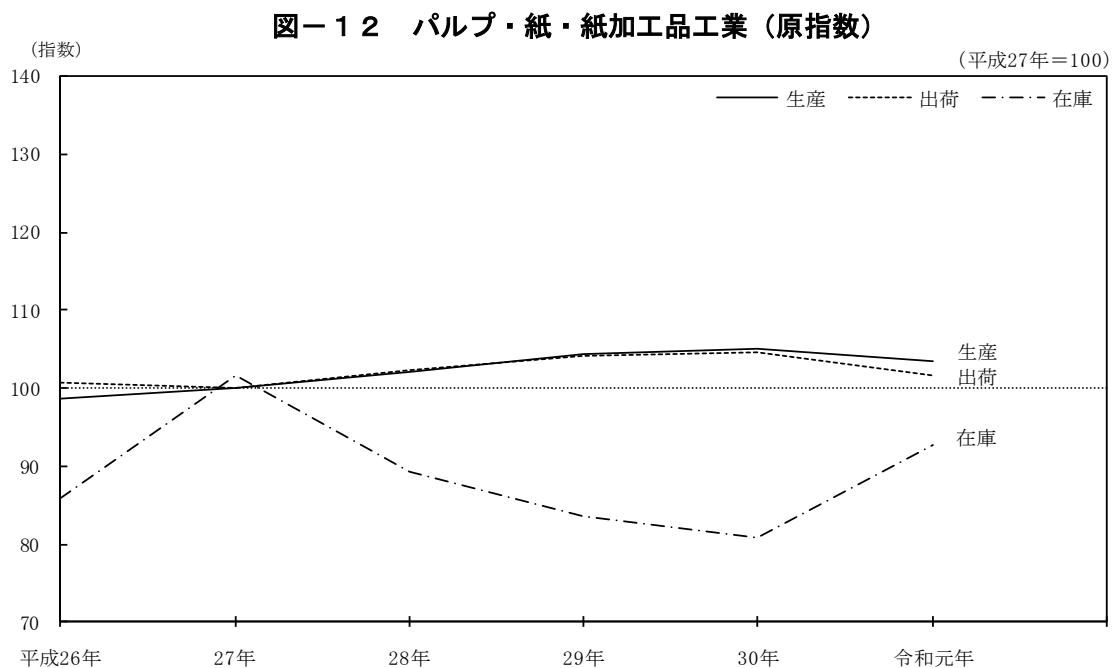
(5) プラスチック製品工業

- ・ 生産指数は、プラスチック製容器等が減少したため、前年比1.4%の低下となった。
 - ・ 出荷指数は、プラスチック製容器等が減少したため、前年比2.7%の低下となった。
 - ・ 在庫指数は、プラスチック製機械器具部品等が増加したため、前年比8.9%の上昇となった。
- (図-11、表-1)



(6) パルプ・紙・紙加工品工業

- ・ 生産指数は、衛生用紙等が減少したため、前年比1.5%の低下となった。
 - ・ 出荷指数は、衛生用紙等が減少したため、前年比2.8%の低下となった。
 - ・ 在庫指数は、段ボール原紙等が増加したため、前年比14.6%の上昇となった。
- (図-12、表-1)



(7) 繊維工業

- ・ 生産指数は、ニット生地染色整理等が減少したため、前年比1.4%の低下となった。
- ・ 出荷指数は、不織布等が減少したため、前年比4.5%の低下となった。
- ・ 在庫指数は、合成繊維糸等が減少したため、前年比1.9%の低下となった。

(図-13、表-1)

